

## 地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 ( 1 105 )

団体名	(特非)ゲートキーパー支援センター	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 竹内 志津香
事業名	地域のこころの相談室「あまりす」			

### < 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
定例 木・土曜の昼間および平日夜	ゲートキーパー支援センター尼崎事務所(一部アウトリーチあり)	相談者12名 相談員(カウンセラー)	対面のカウンセリング、アウトリーチ(自宅近くでの面談など)合計50回。相談者12名(実人数)相談日、相談者概要、相談内容区分などは下記のとおり
2025/7/24他	尼崎事務所他	相談者 4名 相談員 4名	ひきこもりに関すること 他
2025/8/12他	尼崎事務所他	相談者 6名 相談員 6名	就労に関すること 他
2025/9/4他	尼崎事務所他	相談者 8名 相談員 8名	ひきこもりに関すること 他
2025/10/2他	尼崎事務所他	相談者 7名 相談員 7名	家族の問題、ひきこもりに関すること 他
2025/11/6他	尼崎事務所他	相談者 8名 相談員 8名	支援内容について 他
2025/12/2他	尼崎事務所他	相談者 6名 相談員 6名	心に関すること、生活に関すること 他
2026/1/7他	尼崎事務所他	相談者 11名 相談員 11名	ひきこもりに関すること 他

### < 効果と成果 >

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12名の相談者に合計50回のカウンセリング(個別相談)を実施。</li> <li>・ 相談者のほとんどはカウンセリング経験無し。経済的な理由で個別相談を諦めていた人たちだった。</li> <li>・ これまでの当団体の実績から、ひきこもり・元ひきこもりとご家族からの相談を中心に、鬱や心の問題、家族や職場の悩み、住まいや医療など、さまざまな相談が寄せられた。</li> <li>・ 効果としては、相談者の心的回復がまず挙げられる。「気持ちの整理ができた」「生きる力が回復しつつある」「自分の生きづらさを理解できた」など。「居場所に参加できるようになった」「作業所に通うことになった」など、行動面で変化のあった相談者も多い。</li> <li>・ 尼崎市や民間の就労支援団体からの紹介も相次ぎ、地域における相談場所として認知が広がった。</li> <li>・ 半数以上の相談者を、当団体の別事業である居住支援事業や居場所づくり、家族会などにつなぎ、継続的に支援する体制を整備した。将来的な資金確保のために共感寄付などの検討も開始した。</li> </ul>
--

## < 今後の展望 >

・ 選考時にも指摘を受けているとおり、有料化が難しく、事業の自立のためには財源確保が必須。

・ 利用者は経済的な理由で「無料でないと継続できない」人が大半。

・ 今年度、少しでも有料カウンセリングにつながったのは、12人名2名に過ぎなかった。

・ 対応策として、当団体の別事業である居住支援、居場所づくり、家族会などにつながぎ、費用負担なしで相談支援を受けられる仕組みは構築した。しかし、やはり個別のカウンセリングを希望される方は多くその声に十分応えきれていない。また、事業の自立のために、共感寄付の説明会に参加するなどしたが専門家からは「カウンセリングを無料で行うことの妥当性」についての意見もあり、無料支援の意義をどのように整理して、社会に伝え、寄付の前提となる「共感」を得ていくかが、課題である。

・ 相談希望者に対して、事業内容の事前説明を要するケースも多かった。こうした点も踏まえて事業の趣旨がより明確に伝わるよう、事業名称の見直しも検討している。

## < 収支決算書 > (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	400,000
自己資金等	8,466
合 計	408,466

## (支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金	200,000	200,000
	事業担当者人件費	80,000	80,000
	広告費	20,000	20,000
	その他 (旅費交通費等)	4,050	2,270
	小 計	304,050	302,270
間接経費 (一般管理費)		104,416	97,730
合 計		408,466	400,000